

第6回我孫子市地域コミュニティ活性化基本方針策定委員会 会議概要

1. 日 時 : 平成25年2月9日(土) 9時30分から12時00分
2. 場 所 : 議会棟第一委員会室
3. 出席委員 : 坂口委員長/荒井委員/石井委員/金川委員
上村委員/倉橋委員/小林委員/近藤委員/佐々木委員
鈴木委員/田島委員/多田委員/服部委員/早川委員
山家委員/吉田委員/吉村委員/渡邊委員
4. 事務局出席者 : 枝村市民生活部長/四家市民活動支援課長/渡辺主幹
小池主査長/岩上主事/渡邊主事
5. 欠席者 : 牛尾副委員長/新保委員
6. 会議内容
 - (1) 基本方針策定に関する資料について
 - ①市内の小中学校の地域の関わりについて
 - ②コミュニティを構成する組織について
 - ③コミュニティ組織の構成図について
 - ④自治会等のアンケートについて
 - (2) 作業部会案について
 - (3) 今後の進め方について
 - (4) 次回の日程について
7. 傍聴人及び発言者の数 : 傍聴人2人 発言者の数0人
8. 決定事項
 - ・第7回策定委員会は、3月9日(土)9時30分から12時00分に開催。

◆議事の内容

●基本方針策定に関する資料について	
○市内の小中学校の地域の関わりについて	
委員長	特別支援学校が入っていません。
事務局	特別支援学校にアンケート用紙を送っていませんでした。必要であれば、お送りします。
委員長	是非アンケートを実施してほしいです。
委員	以前、布佐タイムというものがありませんでしたが、なくなってしまったのですか。地域のお父さん、お母さん達が先生になって、月2回程度授業を持ちカリキュラムが生まれ、生徒が授業を受けるというもので、地域の活性化になっていると思っていたのですが。
事務局	確認いたします。
委員	久寺家についてですが、夏まつりなどで中学生が手伝いに来てくれています。
事務局	学校側からの回答をそのまま載せており、こちらで学校に再度確認をしておりますので、抜けているところもあるかと思えます。
委員	高校がありません。最近では、高校の部活も手伝ってきってもらっているので、アンケート対象に入れるべきだと思います。
事務局	小学校区の議論が必要なのではという作業部会の中での議論をもとに行なっているアンケートですので、今回は小学校、中学校のみを対象としています。しかし、必要であれば、高校・大学についても行ないます。
委員長	どこまでやりますか。
事務局	基本方針の内容をどうするか議論の中で、どのような資料が必要かということが決まってくると思いますので、どこまで聞くかを決めるというよりは、基本方針の内容をどうするかという検討の中で、アンケート対象の範囲等も決めていきたいと思っています。
委員	高校も入れていいと思います。
委員長	高校、大学も入れていただければと思います。

○コミュニティを構成する組織について	
委員	社会福祉協議会から訂正があります。社会福祉協議会の状況の欄の中に、「会長 1 名・会長 2 名」となっていますが、副会長 2 名の誤りです。また、行政との関係の欄の中に、所管が「社会福祉協議会」となっていますが、「社会福祉課」の誤りです。訂正をお願いいたします。
委員	配布資料は、事前にいただきたいです。
事務局	資料については、事前に配布できるようにいたします。今回の資料は、基本方針策定にあたっての参考資料程度の位置づけと考えています。
委員長	関係各所の部分を見ていただいて、訂正があればご指摘をお願いします。
委員	防犯協議会の内容が薄いので、内容を入れてください。
事務局	市民安全課に聞いて入れ込みます。基本方針の中にコミュニティ組織の説明を記述することになれば、さらに精査していくので、その際に修正等のご連絡をいただければと思います。
委員長	コミュニティ組織の説明を入れていく方向でよろしいですか。そうであれば、関係各所のところで加えてほしいことや訂正等があれば、事務局に連絡してください。
委員	文化団体組織が入っていません。
事務局	抜けているものもありますが、この資料には文化連盟を入れていきます。
委員	小さいものもたくさんあります。コミュニティを構成する組織として入れる基準を設けていくとわかりやすいと思います。
事務局	文化活動については何らかの形で盛り込み、状況説明の部分で団体等の記述も加えていきます。
委員	文化団体は集客力があるので、考慮していただきたいです。
委員長	他に加えてほしい組織はありますか。
委員	老人会から発生している、体育協会に属していないニュースポーツの団体もあります。やはりこちらも、コミュニティを構成する組織として入れる基準を設けていく必要があると思います。
事務局	分野の傾向を見る際に、ニュースポーツなどの新しいも

	のが出てきているなどのコメントを入れることにします。今後さらに検討を行います。
委員	コミュニティを構成する団体として整理する際に、あいまいな表現にしたほうが良いと思います。
事務局	団体の分野の傾向を記述することで、各組織の漏れを網羅することができると思いますので、検討します。
○コミュニティ組織の構成図について	
委員	この資料は、縦割りのなかでの各課の活動の重複を意識してもらおうこと、また各課との関係の中で縦割りになっているコミュニティ組織においても、今後どのように連携するかについて意識してもらおうことが必要であると考え、お願いしました。資料を拝見すると、やはり似たようなことを似たようなところがやっていると思います。
委員	それぞれの行政との関係で課が並べて書いてある中に、教育委員会が同列で並べられているのは大きすぎると思います。もっと分け方を工夫することで、入ってくる組織も増えると思います。統一性のある分類の仕方をすべきです。
事務局	分け方の視点を工夫して加えることで、より詳細な分類が可能だと思います。分かりやすくするのであれば、部ごとに分けると、よりつながりが見えてくるかもしれません。こちらも今後基本方針に入れることになれば、その時に精査していきます。
委員	部ごとに整理したほうが、縦割りの状況が分かりやすいと思います。
委員	部で分けて細かくなりすぎるのであれば、段階分けの構成図があるとよいと思います。
事務局	今回お出しした資料は2種類ですが、いろいろな分け方で組織図を作成することはできると思います。この他にも団体間のつながりの図を作ってみました。複雑になりお出ししていません。各課とのつながりも、線を引くだけではなく、つながりの背景（お金、人材交流）を見せていくとより分かりやすくなるかもしれません。策定委員の皆様からアイデアをいただければ、作成していきます。
委員長	行政の組織図があると分かりやすいと思います。教育委

	員会のところは、修正を加えていただきたいです。
○自治会等のアンケートについて	
委員長	何か特徴的なものはありますか。
事務局	今、事務局でも分析しているところです
委員長	それでは分析ができましたら、またご説明をいただきたいと思います。
●作業部会案について	
○人について	
委員	スポーツ系や文化系の趣味の団体も含めたいろいろな団体があるなかで、自治会や社会福祉協議会などが主体になっていると考えています。趣味の団体のコミュニティ活動における位置づけなども明らかにして、各団体間の関係を基本方針の背景の部分などで書くのはどうかと思います。
委員	作業部会の議論のなかで、地域の課題を解決するという点で考えると、文化系の団体やスポーツ系の団体などは、課題に関わる組織として位置づけていません。
委員	趣味的な団体もコミュニティにおいて重要な役割を担っていると思うのですが。
事務局	たしかに今回、文化系団体は作業部会で議論のなかで出てきませんでした。今後の作業部会において議論を検討する必要があると考えていますし、作業部会の中で検討していきたいと思っています。
委員	文化系やスポーツ系の団体等については、コアの部分で議論した後ですべきではないでしょうか。
委員	課題解決の方向性で、気軽にコミュニティに参加できる運営方法に、イベントや文化活動をどう活性化させていくかというところまで含まれていると解釈しています。
委員	現状の課題認識の優先度からいくとあまり高くないと思います。
委員	考え方として自治会などを活性化してやっていこうというのはいいですが、趣味のグループなどは団体の中で完結してしまっていて、横のつながりがないと思っています。どこかで議論してもらえるといいと思います。
委員	議論はもっと抽象的な話をしていると思います。市の方針としてどうするかという点については、やはり趣味の

	団体は主にならないと思います。
委員	結構なのですが、背景の中に入れてほしいというだけで深い意味はありません。
委員	どのようなコミュニティを活性化するのかという基本的な考え方を固めないと、ここでの議論が総花的になると思います。
委員	この委員会の目的をはっきりしていなければならないとかねがね思っています。市民が実際に行動を起こすときに目的を説明できないと、反対意見などに対して説得することができません。我孫子の特性をとりこんで、抽象的でもいいから「幸せに暮らせる社会をつくる」などの方向性を明確にする必要があると思います。以前、岩崎先生の勉強会で、目的をはっきりさせることが大切だというお話がありました。またコミュニティ活性化においては「働く場所を作ること」「市民を引っ張り込む仕組みをつくること」が大切とのことでした。現在行なわれている議論は、これらの視点がなくなっているのではないのでしょうか。9つの切り口も大切ですが、そもそもの目的が必要です。ただ9つの切り口で切ってしまうと、アンケートの視点でしか議論が出来なくなってしまいます。
委員長	まずは9つの切り口を持って、それを積み重ねていく形で行なったと聞いています。
事務局	まずは現状を認識して議論していきましたが、もちろん視点はこれだけではありません。基本方針を作っていくひとつの切り口と考えてもらえればと思います。
委員	さきほど、作業部会の方々にご苦労様というのを忘れてしまいましたので、今ここで改めて言わせていただきます。人口減少、高齢化が問題だと思います。国の問題として背景で終わってしまうのではなく、課題解決の具体的な方向性を入れてほしいです。地方自治体でもできることを考えていく投げかけはしたいと思います。若い人と話していると、みんな外に出てしまう理由は「不便だから」です。これでは、せつかく育てても力になりません。いかに我孫子に引っ張り込むのかという点で、職場の創造など、方向性として入れ込むことができるのでは

	と思います。
委員	公助が行き届かなくなる部分の説明が必要なのではないでしょうか。
事務局	すぐには答えられませんが、職員の人数も減っており、今後公助ができない部分が出てきます。市役所からできませんと伝えることも必要ですし、市民自身が市民で何ができるのかを考えることも必要です。双方向からのやりとりが必要だと考えています。
委員長	「公助を示す」と「共助を示す」という、相反する議論になっていますが、そのためにこの会があるので、ゆっくり議論していきましょう。
委員	公助ができない領域は悠長に構えていられないと思います。防災の問題などは、今すでに議論が求められていますし、はっきりとさせておいたほうが良いと思います。
コンサルタント	考え方として、自助⇒共助⇒公助の順序の原則を前提に整理すると議論が行ないやすいのではないのでしょうか。
委員	補完性の原則はいいですが、公助を共助、自助にしていくというのは反発する人もいますし、一般論ではいかないと思います。
コンサルタント	もちろん、議論は我孫子の状況を考えながら議論されていくものだと思います。考えていく際の枠組みとして持っておくといいと思います。
委員	地域コミュニティ活性化基本方針の方向性を考えていく必要はもちろんありますし、今後議論していきます。今回は現状を把握し、何ができるかという点について議論を行ないました。今後、議論が進む中で、立体的に固めていけると考えています。
委員	目標があってどうまとめていくかということを考えなくてはいけないと思っています。我孫子の特徴として、勤労世帯が東京に通勤しているため、地域に関わりづらい実態があると思います。これを課題に入れてほしいです。
委員長	第一段階のところで、社会福祉協議会をいれてほしいという意見についてはいかがですか。またスポーツ団体等が出ましたが、さわりにいれていただくということはいかがでしょう。
委員	問題ないと思います。

委員	一つ一つをここで議論することはできないので、今回出た意見や議論を作業部会に聞いてもらって、また作業部会に持って帰ってもらって精査してもらえればいいと思います。
委員長	ここで出た意見を取り入れ、再度作業部会で検討していただくという方向でよろしいでしょうか。
事務局	いただいた意見をどのように盛り込むかについても、作業部会で議論したいと思っています。
○情報について	
委員	「また～地域の個人情報の把握が困難」というのは、この文章どおりの意味ですか。それとも、個人情報保護法の問題についてでしょうか。その点が分かりづらいです。表現を正確にすべきだと思います。
委員	個人情報保護法の問題というよりは、一般的な意味での個人情報が収集困難という意味です。地域課題の解決において、どれだけの情報が必要なのかという点もはっきりしていませんし、さらに必要な情報も取ることができません。
委員長	それでは、表現をわかりやすく直すということで、よろしくお願いいたします。
委員	私の書いた意見については、お互いの情報共有化という面でどういう活動をするかについて、例えば社協とまち協が同じようなことをやることもありますので、特に大きな意味はないということです。
委員	この文章を見ていると、本当に個人情報が必要なのかという点に疑問を持ちます。目的、趣旨をはっきりさせて情報を集めれば、必要な情報は集まるはずですが、何の目的もなしに情報を集めていては、それは当然集まらないと思います。
○連携・連帯について	
委員	誰がコーディネートするか横のつながりをどう作るかが一番の課題だと考えています。
委員長	今回の図も使って団体間の位置づけを表現してもらえればわかりやすいと思います。
○コミュニティのエリアについて	
委員	文章がややこしいと思います。「自主防災組織などのよ

	うな」はいらないのではないのでしょうか。
委員長	地図で地域に漏れがないことを図示したらいいのではないのでしょうか。
委員	私は、今後方向性として、今ある自治会を大きくする組織ができていくのではと考えています。エリアについては、特に高齢者には反発する人も多いと思うので、メリットを明確にするなど、説得するうまい説明が必要だと思います。
委員	社会福祉協議会も各支部に分けて活動を行っていますが、横のつながりがなく、中身の連携がないのが実態です。形骸化したつながりではなく、中身の連携について投げかけるような文章が必要だと思います。
委員	作業部会としても認識しています。
委員長	「連携・連帯」と「コミュニティのエリア」の問題は、切り離せないこともあるかと思っています。
委員	地区社協やまち協がお互いに委員を出しているという例もあり、そこではそれぞれの内容の部分は共有できていると思います。ただ、それぞれの組織が何をしているかなどの認識は出来ていません。コーディネーター役は、例えば地区社協ができればいいのですが、力不足だと思っています。自治会の再編についてはここでは触れられないのではと思います。自治会によっては、歴史もあるので、一括して再編はできないのではないのでしょうか。エリアの再編について、自治会を入れるのは適切ではないと思います。また、区として財産を持っていると、再編はできないですし、たまたまそこに編入したからといって区の構成メンバーになれない実態があります。
委員	世の中の流れがそうなっているので、今後自治会の再編について進むのかなと思ったのですが、実際に作業部会で話は出ていますか。
委員	戸数が少なく高齢化している点や活動の実態が伴っていないという話が出ています。将来的にそういうところは誘導していく必要があると作業部会でも認識はありますが、具体的な話にはなっていません。
委員	地域によって温度差があると思います。
委員	合体というよりは、いかに連携できるかということが問

	題だと思えます。
○資金について	
委員長	お金をどう稼ぐかという点が問題だと思えます。
○意識について	
委員長	地域と関わりを持つことが義務か否かという点について、さきほど事務局から投げかけがありましたが、いかがでしょう。
委員	資料の「全般に関する意見」の部分に書いてありますが、いかに活動しやすい仕組みを作るかという点が重要だと思えます。
委員長	責務というのは難しいと思えます。参加しやすい仕組みづくりという表現を入れてほしいと思えます。
○場所について	
委員	場所の使い方について、どのような方向にしていくべきなのかは議論をする必要があると思えます。場所の運営側が「使い勝手がよい」ことを目指して頑張るのか、利用する側が自分たちで回って頑張るのか、市役所が窓口になってそこにいけばいいという形になるのか、その他の連携によって対応ができるのかなど、活性化させていくための場所の使い方について、その方向性や、それぞれの折り合いをどうつけるか考えていくことが必要だと思えます。
事務局	ネット予約などの検討も行われており、その中では、今後施設間の連携も必要だと思えます。
委員	高齢独居者が世帯の4割、空き家が1.5倍になります。空き家をうまく使っていくことが必要ではないでしょうか。防犯、防災上にとってもいいと思えますし、まちの活性化にも活用できるので、一石二鳥だと思えます。行政が間に入ってくれば、安心感を持って空き家の持ち主も貸せると思えます。パリ発祥の「隣人祭り」を埼玉県県の三郷市がやっているのですが、これを空き家と結びつけるといいと思えます。これは、岩崎先生の言う「仕掛けづくり」になると思えます。
委員長	市の関わりも重要ですね。
委員	空き家は防犯上問題なので、危ないところは、市民安全課が見に行ったり、持ち主に連絡したりしています。空

	き家を使って、近隣住民があつまるようなことを社協がやっているので、調査してほしいです。
事務局	「適正に管理されていない空き家」を定義して市民安全課で調査を行ない、その結果、370件程度ありました。地域によっては、空き家を使ってコミュニティ活動に取り組んでいるところもあります。
委員長	それらについて説明資料をお願いします。
○組織運営について	
委員	情報発信を行なう必要等について後ろの資料に書いていますので、参考にしていただければと思います。地域の中にどういう組織があり、どのような活動をしているかについて、あまり知らないのではと思います。
○行政について	
委員	人材育成について、市でできることもあると思いますので、行政の課題に入れてほしいです。
○作業部会案 全般に関する意見について	
委員	資料の「全般に関する意見」を参考にさせていただきたいと思います。まず、基本方針の前提になる「なぜ、今コミュニティの活性化なのか」「特にどの分野で必要なのか」という点について議論が行なわれていません。また、課題の優先順位が見えないため、課題によって重点、方向がまちまちになっていると思います。活性化の検討の目的が行政の公助の限界であるなら、地域の自助、共助を期待する点がどこかを示す必要があると思います。組織については、地区別に包括的な組織をつくり、重要課題を分科会形式で組み立てるのではなく、地域課題から順番にコミュニティをつくり最終的にそれを総合的なコミュニティにする戦略が今のところ議論されていないのではないかと思います。各課題については、課題の順番が分かりづらいと思います。9つの課題が並列的に並んでいて、どれから取り上げるか位置付けられていません。検討する順番から言っても現状から言っても、人の問題は最大の課題だと思っていますが、そういう位置付けが見えていません。各課題に関連の組織団体が例示してありますが、例示の基準がはっきり見えません。問題意識が今の状態では組み立てにくいと思います。もっと上の

	段階の議論をする必要を考えているので、一つひとつの課題に対して、コメントは出来ませんでした。
委員長	今回出てきた意見を踏まえて、上に向かって精査していただきたいと思います。
委員	段階を踏んで対応していく必要があると思います。
●次回の日程について	
	第7回策定委員会は3月9日(土)に開催決定。その間、作業部会を開催し、本日の策定委員会の内容を踏まえて議論を進めていく。